

2014年6月26日

各位

会社名	日立キャピタル株式会社
代表者名	執行役社長 三浦 和哉
(コード番号:8586・東証第一部)	
問合せ先	経営企画部長 畠山 真和 (TEL:03-3503-2118)

## セグメントの変更に関するお知らせ

当社は、本年4月1日に実施した事業執行体制の見直しにより、事業セグメントを下記のとおり変更いたしました。

日本事業においては、近年の環境変化に伴うビジネスモデルの転換により、多様化した顧客のニーズ(アカウント)に対し金融サービスを提供する「アカウントソリューション」、提携ベンダーの販売促進等のニーズに対し金融サービスを提供する「ベンダーソリューション」の2事業に区分いたしました。また、グローバル事業においては、成長戦略の推進とガバナンス強化の両立をめざし、各地域における事業執行責任者を新設し、「欧州」「米州」「中国」「ASEAN」の4事業に区分いたしました。

これにより、2015年3月期第1四半期の決算発表(本年7月25日予定)から、この変更後のセグメントを用いて業績の発表を行います。

なお、「新セグメントの概要」、「営業収益/セグメント利益」は別紙をご参照ください。

記

### 【旧セグメント】

金融収益事業
手数料収益事業
仕入・販売収益事業
グローバル事業



### 【新セグメント】

日本	アカウントソリューション
	ベンダーソリューション
欧州	
米州	
中国	
ASEAN	

## 新セグメントの概要

セグメント		内容	主な連結子会社
日本	アカウントソリューション	顧客の多様なニーズに対し、当社グループのリース、保険、信託等の機能の組み合わせや、日立グループとの連携により金融サービスを提供するもの	<p>沖縄日立キャピタル株式会社 日立キャピタルオートリース株式会社 積水リース株式会社 日立キャピタル損害保険株式会社 日立キャピタルコミュニティ株式会社 日立キャピタル信託株式会社 ファイナンシャルブリッジ株式会社 日立グリーンエナジー有限会社 日立ウインドパワー株式会社</p>
	ベンダーソリューション	提携ベンダーの販売促進等のニーズに対し、当社グループのリースや割賦等の金融サービスを提供するもの	日立キャピタル NBL 株式会社 <sup>(*)2</sup>
欧州	各地域における顧客ならびにベンダーに対し、ニーズに応じた幅広い金融サービスや、日立グループとの連携による金融サービスを提供するもの		<p>Hitachi Capital (UK) PLC Hitachi Capital Vehicle Solutions Ltd. Hitachi Capital Insurance Europe Ltd. Corpo Flota Sp. z o.o.</p>
米州			<p>Hitachi Capital America Corp. Hitachi Capital Canada Corp. CLE Canadian Leasing Enterprises Ltd.</p>
中国			<p>Hitachi Capital (Hong Kong) Ltd. 日立租賃(中国)有限公司 日立商業保理(中国)有限公司</p>
ASEAN			<p>Hitachi Capital Singapore Pte. Ltd. Hitachi Capital Management (Thailand) Co., Ltd. Hitachi Capital (Thailand) Co., Ltd. First Peninsula Credit Sdn. Bhd. PT. Arthaasia Finance</p>
その他			<p>日立キャピタル債権回収株式会社 日立キャピタルサービス株式会社 日立トリプルウィン株式会社 第一信用保証株式会社</p>

(\*)1 日立キャピタル株式会社は、各々の事業の特性に応じ、日本の各報告セグメントに含まれております。

(\*)2 日立キャピタル NBL 株式会社(現商号:株式会社日本ビジネスリース)は、本年 8 月 11 日に商号変更を予定しております。

## 営業収益／セグメント利益(2014年3月期)

## (1) 新セグメント

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (*)	合計	調整額 (*)、(*)3	連結損益 計算書 計上額 (*)4
	日本		欧州	米州	中国	ASEAN	計				
	アカウント ソリューション	バンダー ソリューション									
営業収益											
外部顧客への 営業収益	45,797	16,609	31,133	4,695	12,493	7,134	117,862	12,093	129,956	△1,976	127,979
セグメント間の 内部営業収益 又は振替高	2,005	△20	—	—	—	—	1,985	1,712	3,697	△3,697	—
計	47,802	16,589	31,133	4,695	12,493	7,134	119,847	13,805	133,653	△5,674	127,979
セグメント利益	14,618	3,444	11,029	1,193	3,436	12	33,734	2,138	35,872	△3,274	32,598

(\*)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、事業の開発及び再生により事業構造転換を図る会社等を含んでおります。

(\*)2 セグメント営業収益の調整額△1,976百万円は、各報告セグメントに配分していない債権流動化に伴う営業収益等です。

(\*)3 セグメント利益の調整額△3,274百万円には、セグメント間取引及び連結子会社との配当金等の取引消去等が3,083百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△6,357百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費であります。

(\*)4 セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(\*)5 資産については、セグメントごとの配分は行っておりません。

## (2) 旧セグメント

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (*)	合計	調整額 (*)2	連結損益計算 書計上額 (*)3
	金融収益 事業	手数料収益 事業	仕入・販売 収益事業	グローバル 事業	計				
営業収益									
外部顧客への営業収益	46,467	14,341	11,143	55,456	127,409	569	127,979	—	127,979
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	1,350	952	530	—	2,833	—	2,833	△2,833	—
計	47,818	15,294	11,673	55,456	130,243	569	130,813	△2,833	127,979
セグメント利益	17,114	1,454	3,115	15,672	37,356	569	37,926	△5,327	32,598

(\*)1 「その他」の区分は、報告セグメントに属さない本社管理部門の金融収益であります。

(\*)2 セグメント利益の調整額△5,327百万円には、セグメント間取引及び連結子会社との配当金等の取引消去△39百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△5,288百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに属さない一般管理費であります。

(\*)3 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(\*)4 のれん及び資産については、セグメントごとの配分は行っておりません。

なお、のれんについては、子会社買収等によって発生したものであり、償却額は2,348百万円であり、未償却残高は3,028百万円であります。

以上